

志免四だより

令和7年10月
第187号

発行所
志免四公民館
志免町志免1丁目1-8
TEL 092-935-0466
発行責任者
志免四公民館主事
日高 勲
編集・構成・作成
総務部 熊本 仁



敬老祝賀会



9月24日(水)、「松活」にて志免四町内会敬老祝賀会を開催しました。当日は、志免町長世利良末様、町議会議員大西勇様もご来賓としてお祝いにきていただきました。志免四町内会には敬老祝賀会の対象者が、五百名以上いらっしゃいます。そのうち、約90名の方がお集まりくださいました。式典では、ご来賓のお二人から温かなお祝いの言葉をいただきました。また、衆議院議員の宮内秀樹様からは祝電が届いており、また、ご令室様が駆けつけてくださり、真心もこもったご祝辞を賜りました。

その後の祝宴は、コーラス部の合唱にはじまり、のど自慢の方々のカラオケ熱唱が続いて、大いに盛り上がりしました。最後は、空くじなしのお楽しみ抽選会で皆さん景品をゲットして、心躍るひと時を過ごしていただきました。



がんばりましたよ
皆さんの応援、
ありがとうございました！

スポーツの秋に先駆けて、残暑厳しい9月にもいろいろな行事、イベントで志免四町内会の人たちが躍動しています。

9月7日(日)に岩崎神社で「石投げ相撲」がありました。石投げ相撲は江戸時代から伝わる志免町の伝統行事です。志免四町内会からも小学生が出場しました。



大会は3位、6年生の個人戦では上位を独占する大活躍でした。大人も負けてはいません。同じ日に町民体育館でミニバレーボール大会が開催されました。暑い中、対戦相手は子や孫と良い汗を流しました。

最後は、9月28日(日)にシーメイト多目的広場で開催されたジュニアソフトボール大会です。志免四選手代表による選手宣誓に始まり、見事に優勝しました。

10月公民館行事予定

- ※うきうきルーム(総務部)
【日時】10月20日(月) 10時～
- ※なごみカフェ(福祉部)
【日時】10月28日(火) 10時～
- ※ふれあいいきいきサロン
「お一人暮らしバスハイク」
【日時】10月14日(火) 8時30分～

11月公民館行事予定

- ※資源物回収(環境部)
【日時】11月9日(日) 8時～
- ※予備日16日(日)
- ※うきうきルーム(総務部)
【日時】11月10日(月) 10時～
- ※クリーンアップうみ川(町行事)
【日時】11月16日(日) 10時～
- ※志免四ミニ文化祭
【日時】11月15日(火) 10時～
- ※なごみカフェ(福祉部)
【日時】11月25日(火) 10時～

文化祭 出演・出品 大募集！

11月15日(土)開催予定の志免四ミニ文化祭の出演者、展示作品を募集しています。昨年は、マジックや詩吟、歌謡などの出演がありました。展示は、陶芸や手芸、写真、書画などがありました。

自薦他薦問いません。ご希望ありましたら



各組長さんにお声掛けください。組長さんは組長会などの際に役員にお伝えください。

2階の広間に作品を展示します。たくさんのご応募をお待ちしております。

「食品ロス削減月間」

10月は「食品ロス削減月間」です。食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。日本では、多くの食料を輸入に頼っている一方で、たくさん食品ロスが発生している現状があります。食べ残し、売れ残りや期限が近いなど様々な理由で、食べられるのに捨てられてしまう食品「食品ロス」。日本の食品ロス量は、年間464万トン、毎日、大型トラック(10トン車)約1270台分の食品を廃棄しています。これは1人当たり毎日おにぎり1個を捨てている計算になります。

食品ロスを減らすための小さな行動も、一人ひとりが取り組むことで、大きな削減につながります。食べものを生かす生産者・製造者への感謝の気持ちや、食べものを無駄にしないという意識はあっても、行動に移せていないかたもいらっしゃるかもしれません。

消費者庁などは、食品ロス削減に向けて、基本は、買物時に「買いすぎない」、料理を作る際「作りすぎない」、外食時に「注文しすぎない」、そして「食べきる」ことが重要だと広報等で発信しています。

【買い物編】

- ◎冷蔵庫にある食材を確認する
- ◎必要な分だけ買って、食べきる
- ◎期限表示を知って、賢く買う

【家庭編】

- ◎適切に保存する
- ◎残っている食材から使う
- ◎食べきれない量を作る



そうですね。わかつちやいるけど、実際はなかなか実践できていないのが現状ではないでしょうか。食品ロス削減月間を機に、ご家庭で食品ロスについて話し合う機会がもてれば、それだけでも意識は変わってくるかもしれません。

秋の

空が高く澄み渡り、木々が少しづつ色づき始める季節となりました。日差しはやわらかく、風は涼しく、体を動かすにも心を満たすにもぴったりの秋の到来です。

「スポーツの秋」とよく言われます。運動会や地域のグラウンドで汗を流す子どもたちの姿は、見ているだけで元気を分けてもらえます。思い切り走って息を切らしても、澄んだ空気を胸いっぱい吸い込めば、不思議とまた力が湧いてくる。体を動かすことの楽しさを、改めて思い出させてくれる季節です。

一方で「文化の秋」でもあります。読書や芸術鑑賞、地域の文化行事など、心を豊かにする機会があります。ふと立ち止まり、秋ならではの風景に目を向けると、小さな発見が心を軽やかにしてくれるものです。

スポーツも文化も、共通するのは「爽快感」ではないでしょうか。汗をかいた後の清々しさ、本に没頭した後の余韻、歌や演奏に触れたときの胸の高鳴り。それぞれが私たちの日常に小さな活力をもたらしてくれています。

今年の秋も、一人ひとりが自分らしい楽しみを見つけて、心も体もリフレッシュできる日々となりましょう。秋の夕刻に舞うトンボのように、軽やかな伸びやかな気持ちで過ごしていきたいですね。

